

阿づまの光

A Z U M A N O H I K A R I

すめ神は光をかくし和げて
すべてのものを育みたまふ

【尊師 出口日出磨】



教主さまお作

灰釉茶盃

「対馬」

「対馬土、対馬樽釉」

泰然自若

祭務課主任 神宮幸太郎

去る6月12日、東光苑月次祭は教主さまのご臨席を仰ぎ、厳粛に執行させていただきました。ご奉仕いただきました皆さまには大変お世話になりました。また、東北教区をはじめ、遠近各地から、たくさんのご参拝を誠にありがとうございました。私自身は祭典の準備など、ありがたくお任せさせていただきました。教主さまご臨席の祭典は格別であるとあらためて実感しました。

ところで、私はかつて装束のご用をさせていただいた時期があります。祭員は装束を身に纏い、姿勢正しく凛とお仕えること。中でも祭典で着装する装束には気持ち引き締められます。

四大祭をはじめ、ほとんどの大本祭典では、齋主が「齋服・袍」を着装します。私が初めて袍の着付け（衣紋者）をさせていただいた方は、故・出口尚雄先生でした。「今日は、着付けてくれるのか？」と問われ、状況を呑み込めないまま、ドキドキしながら、お手伝いさせていただきました。着付けを終え「神宮さん、これから頼むな」とおっしゃってください、それから何度も着付けをさせていただきました。「ここが良かった」「ここはこうした方がよいかな」など、常に気遣ってください、ご指導いただきました。他の齋主の方々にも、優しくご指導いただいたおかげで、今があります。

誌面の都合で、すべてをお伝えできませんが一つだけ。「そんなに気張って着けんでもよい、リラックスや。落ちついてな…」と尚雄先生。私のご奉仕の原点であり、全てに通じる心構えを教えてくださいました。

「泰然自若」を胸に、これからもご用にお仕えできればと思います。

「泰然自若」落ちついていて、どんなことにも動じないさま



教主さまご臨席

東光苑月次祭を執行

6月東光苑月次祭・人類愛善会創立記念祭典ならびに市杵島姫命例祭は6月12日午前10時30分から、教主さまご臨席、齋主・加藤道明祭務課長のもと執行され、東北・関東教区の信徒ら415人が参拝した。祭員は茨城主会ほか有志が、少年祭員は、茨城主会の渡邊真仁さん、渡邊結斗さん。伶人は二絃の会関東支部、大本神論拝読は秋山智千葉主会長が、東光庵では添釜が開かれ埼玉主会が担当した。祭典後、小林龍雄大本本部長、橋本伸作東京宣教センター長がそれぞれあいさつを述べた。



教主さまご先達『神言』奏上

その後、能舞台では二絃の会関東支部による八雲琴『秋風曲』が、また、関東教区青年部員による『霊界物語』役割拝読「水車」(第52巻第16章)がそれぞれ奉納された。

ついで、教主さまにはご神前で参拝者と直会をご一緒にされたあと、中学生以下の少年少女と乳幼児、また80歳以上の方にお菓子を手渡された。このあと、教主さまには東光庵へご入席。その後、教主さまはご神前で、参拝者一人ひとりとのご面会をお受けになり、親しくお声を掛けられた。ご面会后、教主さまは多くの参拝者のお見送りを受けられ、午後5時、東光苑を後にされた。



二絃の会関東支部 八雲琴『秋風曲』



関東教区青年部員 役割拝読『水車』



東光庵へご入席



お子様へお菓子を手渡し



一人ひとりにご面会いただいた



教主さまのお出迎え準備



ご到着の教主さまをお迎え



奉仕団で直会をお渡し



直心会による玉串受付

ご奉仕ありがとうございました

東光苑オンライン講座

8月19日(金) 19:00~

大本歌祭の神事

~ 歌垣に込められた平和の祈り ~

講師：鈴木林太郎 (愛善宣教部長)

「八雲立つ出雲八重垣つまごみに 八重垣つくるその八重垣を」

素盞鳴尊さまが詠まれた、この「八雲神歌」

は、普く平安を願われる神の大御心です。出口王仁三郎聖師が復興した世界平和の実現を誓う大本歌祭から人類愛善の精神を学びます。



大本東京本部ホームページをご覧ください！

8月 東光苑祭典・行事予定

- 3日(水) 夕拝後、神集祭遥拝祭(初日・旧7月6日)
- 7日(日) 午前10時30分、開教130年瑞生大祭遥拝祭
- 9日(火) 夕拝後、神集祭遥拝祭(最終日・旧7月12日)
- 14日(日) 午前10時30分、東光苑月次祭・市杵島姫命例祭
- 19日(金) 午後7時、東光苑オンライン講座(配信)
 - 講題 大本歌祭の神事
 - 講師 鈴木林太郎(愛善宣教部長)